

届出

[平成19年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

日本文理大学 工学部 建築学科

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 文理学園  
平成21年5月1日現在

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「 大学大学院 ……」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「 大学 学部」

・学部の学科の設置の場合：「 大学 学部 学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「 短期大学 学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「 大学大学院 研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「 大学 学部 学科(通信教育課程)」

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学 校 法 人 文 理 学 園

## (2) 大学名

日 本 文 理 大 学

## (3) 大学の位置

〒870-0397  
大分県大分市大字一木1727番地162

## (4) 管理運営組織

職 名	届 出 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(スガ ユキオ) 菅 幸雄 (平成3年4月)	(スガ サダヨシ) 菅 貞淑 (平成19年1月)	前理事長死亡による理事長就任 (平成19年1月17日) (21)
学 長	(マツバラ ノリヒロ) 松原 典宏 (平成13年10月)	(ヒライ タカユキ) 平居 孝之 (平成19年10月)	前学長任期満了による学長就任 (平成19年10月1日) (21)
学 部 長	(ハヤノ フサカズ) 早野 総和 (平成18年4月)	(イシダ コウイチ) 石田 孝一 (平成20年4月)	学部長交代のため (平成20年4月1日) (21)
学 科 長 等	(ヒロタ アツヒコ) 廣田 篤彦 (平成19年4月)		

- (注) 1. 『(3) 大学の位置』は、届出学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。
2. 『(4) 管理運営組織』の「変更状況」欄は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」欄に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例)平成21年度に報告する内容 (21)

## 2 授業科目の概要

<工学部 建築学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手	
教 養 基 礎 科 目	人間力概論	1前	2									
	人間関係心理学	1前		2								
	基礎学力講座 1	1前		2				2	4			平成19年9月 樋田操教授死亡のため、後任として平成20年4月 建築学科専任へ所属変更(21) 担当 池畑義人(准教授)
	基礎学力講座 2	1前		2				2	4			平成19年9月 樋田操教授死亡のため、後任として平成20年4月 建築学科専任へ所属変更(21) 担当 池畑義人(准教授)
	勝者の心理学・失敗学概論	1後		2								
	社会参画入門	1前		2			2	5	2	5		平成21年4月 社会参画入門と社会参画応用は、申請後に担任制科目となり、バランスよく教員を再配分したため、担当教員が増減した。(21)
	英語 1	1前	2									
	英語 2	1後		2								
	情報リテラシー 1	1前・後	2									
	情報リテラシー 2	1後		2								
	起業学	1後		2								
	文章表現基礎講座	1後	2									
	コミュニケーション基礎講座	1前		2								
	コミュニケーション演習	1後		2								
	大分学・大分楽	1前		2								
	マーケティング学演習	1後		2								
	健康の科学	1前		2								
スポーツ実践基礎 <del>スポーツ実践・基礎</del>	1前		2								平成19年4月 科目名誤謬訂正(21)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教 養 基 礎 科 目	<del>スポーツ実践基礎</del> <del>スポーツ実践・基礎</del>	1後		2								平成19年4月 科目名誤謬訂正(21)
	感性学	2後		2								
	アイデンティティの社会学	2前		2								
	社会参画応用	2前		2		2 4	2					平成21年4月 社会参画入門と社会参画応用は、申請後に担任制科目となり、バランスよく教員を再配分したため、担当教員が増減した。(21)
	英語3	2前		2								
	英語4	2後		2								
	異文化コミュニケーション	2後		2			1					平成20年4月 講義内容を充実させるため担当者の追加(21) 担当 近藤正一(准教授)
	スポーツサイエンス	2前		2			2					平成20年4月 講義内容を充実させるため担当者の追加(21) 担当 池畑義人(准教授) 担当 吉村充功(准教授)
	商品開発学	2後		2								
	大分の産業	2後		2								
	ヒューマンアート	2後		2		1						平成19年10月 平居孝之教授、学長就任のため平成20年度より担当者変更(21) 担当 園田一則(教授)
	<del>スポーツ実践応用</del> <del>スポーツ実践・応用</del>	2前		2								平成19年4月 科目名誤謬訂正(21)
	<del>スポーツ実践応用</del> <del>スポーツ実践・応用</del>	2後		2								平成19年4月 科目名誤謬訂正(21)
	社会参画演習	3前		2			1					平成21年4月 講義内容を充実させるため担当者の追加(21) 担当 吉村充功(准教授)
	英語5	3前		2								
	英語6	3後		2								
	第二外国語1	3前		2								
	第二外国語2	3後		2								
	就職講座	3後		2								
	生涯スポーツ指導	3前		1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養基礎科目	NPOプロジェクト	3後		2			1					平成21年4月 講義内容を充実させるため担当者の追加(21) 担当 吉村充功(准教授)
	日本国憲法	3前		2								
	日本語1	1前・後		1								
	日本語2	1前・後		1								
	日本語3	2前		1								
	日本語4	2後		1								
	日本語5	3前		1								
日本語6	3後		1									
専門教育科目	構造力学1	1前	2			1						平成20年4月 准教授より教授に昇任(21) 担当 園田一則(教授)  平成19年9月 樋田操教授死亡のため、後任として平成20年4月 建築学科専任へ所属変更(21) 担当 池畑義人(准教授) 平成20年4月 准教授より教授に昇任(21) 担当 園田一則(教授) 平成21年4月 平居孝之教授、学長就任のため後任者採用(21) 担当 山口 信(助教)  平成20年4月 准教授より教授に昇任(21) 担当 園田一則(教授)  平成19年9月 樋田操教授死亡のため担当者の変更(21) 担当 吉村充功(准教授)
	造形	1前		2								
	構造力学1演習	1前		2		1						
	CAD1	1前		1		4	4					
	製図1	1前		1			1					
	建築・都市工学入門	1前		2		4	5		1			
	製図2	1後	2				1					
	構造力学2	1後	2			1						
	スペースデザイン	1後		2								
	構造力学2演習	1後		2		1						
	CAD2	1後		1		2	4					
	環境計画	1後		2		4	1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	材料力学	1後	2			1						
	設計製図1	2前	2				2					
	建築材料実験	2前		2		1						
	構造力学3	2前	2			1						
	建築計画1	2前		2			1					
	CAD3	2前		1		1	1					
	インテリア環境工学	2前		2			1					
	モダンデザイン	2前		2			1					
	応用数学1	2前		2			1					平成19年9月 樋田操教授死亡のため、後任として平成20年4月 建築学科専任へ所属変更(21) 担当 池畑義人(准教授)
	情報処理・CALS/EC	2前		2		4	1					平成19年9月 樋田操教授死亡のため、後任として平成20年4月 建築学科専任へ所属変更(21) 担当 池畑義人(准教授)
	環境水理学	2前		2		4	1					平成19年9月 樋田操教授死亡のため、後任として平成20年4月 建築学科専任へ所属変更(21) 担当 池畑義人(准教授)
	測量学	2前		2		1	4					平成20年4月 准教授より教授に昇任(21) 担当 園田一則(教授)
	水文学	2前		2			1					平成20年3月 河野忠教授退職のため、平成20度より担当者の変更(21) 担当 池畑義人(准教授)
	自然生態工学	2前		2								
	設計製図2	2後	2			1	1					
	建築計画2	2後		2		1						
	建築一般構造	2後		2		1						
建築法規1	2後		2		2 3				1		平成21年4月 平居孝之教授、学長就任のため後任者採用(21) 担当 山口 信(助教)	
CAD4	2後		1		1	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	建築環境工学	2後		2			1					平成21年4月 平居孝之教授、学長就任のため後任者採用(21) 担当 山口 信(助教)	
	材料工学	2後	2			4			1				
	構造設計1	2後		2		1							
	日本建築史	2後		2			1						
	住居論	2後		2			1						
	構造力学4	2後		2		1							
	応用数学2	2後		2			1						
	流体力学	2後		2			1						平成19年9月 樋田操教授死亡のため、後任として平成20年4月 建築学科専任へ所属変更(21) 担当 池畑義人(准教授)
	地理情報システム	2後		2		1	4						平成20年4月 准教授より教授に昇任(21) 担当 園田一則(教授)
	橋梁工学	2後		2		1							平成19年9月 樋田操教授死亡のため、後任として平成20年4月 建築学科専任へ所属変更(21) 担当 池畑義人(准教授)
	河川海洋環境工学	2後		2		4	1						平成19年9月 樋田操教授死亡のため、後任として平成20年4月 建築学科専任へ所属変更(21) 担当 池畑義人(准教授)
	設計製図3	3前		2		1	1						平成21年4月 平居孝之教授、学長就任のため後任者採用(21) 担当 山口 信(助教)
	施工1	3前	2			4			1				平成19年9月 樋田操教授死亡のため、後任として平成20年4月 建築学科専任へ所属変更(21) 担当 池畑義人(准教授)
	建築法規2	3前		2		1	2						平成19年9月 樋田操教授死亡のため、後任として平成20年4月 建築学科専任へ所属変更(21) 担当 池畑義人(准教授)
	研究ゼミナールA	3前		2		5	5		1				平成19年9月 樋田操教授死亡のため、後任として平成20年4月 建築学科専任へ所属変更(21) 担当 池畑義人(准教授)
	インテリア材料	3前		2		4			1				平成20年4月 准教授より教授に昇任(21) 担当 園田一則(教授)
バリアフリーデザイン	3前		2		1						平成21年4月 平居孝之教授、学長就任のため後任者採用(21) 担当 山口 信(助教)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	都市計画	3前		2		1						
	世界建築史	3前		2		1						
	構造設計2	3前		2		1						
	技術者倫理	3前	2			4	1					平成19年9月 樋田操教授死亡のため担当者減(21)
	測量実習1	3前		1		1	4					平成20年4月 准教授より教授に昇任(21) 担当 園田一則(教授)
	建設情報マネジメント	3前		2		1						
	VEプロジェクト演習	3後		2			4					平成19年9月 樋田操教授死亡のため、後任として平成20年4月 建築学科専任へ所属変更(21) 担当 池畑義人(准教授)
	建設工学実験	3前		2		1 2	2 4					平成19年9月 樋田操教授死亡のため、後任として平成20年4月 建築学科専任へ所属変更(21) 担当 池畑義人(准教授)
	スポーツ施設工学	3前		2			1					
	施工2	3後	2			4				1		平成21年4月 平居孝之教授、学長就任のため後任者採用(21) 担当 山口 信(助教)
	研究ゼミナールB	3後		2		5	5			1		平成19年9月 樋田操教授死亡のため、後任として平成20年4月 建築学科専任へ所属変更(21) 担当 池畑義人(准教授)
	建築設備	3後		2				1				平成20年4月 准教授より教授に昇任(21) 担当 園田一則(教授)
	設計製図4	3後		2				1				
	ランドスケープ	3後		2		1						平成19年9月 樋田操教授死亡のため、平成21年度より担当者の変更(21) 担当 菅 雅幸(教授)
	構造設計3	3後		2		1						
	測量実習2	3後		1		1	4					平成20年4月 准教授より教授に昇任(21) 担当 園田一則(教授)



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	建設情報マネジメント演習	3後		2			2 4					平成19年9月 樋田操教授死亡のため、後任として平成20年4月 建築学科専任へ所属変更(21) 担当 池畑義人(准教授)
	地盤工学	3後		2			1					平成20年4月 准教授より教授に昇任(21) 担当 園田一則(教授)
	スポーツ施設工学実習	3後		1		1	4					
	メンテナンス/リニューアル工学	4前		2		1	1					
	設計製図5	4前		2		1	1					
	卒業研究	4通	6			5	5					平成19年9月 樋田操教授死亡のため、後任として平成20年4月 建築学科専任へ所属変更(21) 担当 池畑義人(准教授) 平成20年4月 准教授より教授に昇任(21) 担当 園田一則(教授)
工学概論	1後		2			2					平成20年4月から教職課程認定のため科目を追加(21) 担当 池畑義人(准教授) 担当 近藤正一(准教授)	

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 16	科目 100	科目 0	科目 116	科目 16	科目 101	科目 0	科目 117	平成20年4月から教職課程認定のため工学概論を追加(21)
				[ ]	[ 1 ]	[ ]	[ 1 ]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は，設置届出書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は，未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに，[ ]内に届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)
- 3 「(3) 未開講科目」は，届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は，届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には，授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は，小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	日本文理大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
工学部	4	240	-	960					
機械電気工学科	4	60	-	240	学士(工学)	0.84	平成20年度	大分県大分市大字一木1727番地162	
航空宇宙工学科	4	80	-	320	学士(工学)	0.85	平成14年度	〃	
情報メディア学科	4	100	-	400	学士(工学)	0.72	平成14年度	〃	
知能機械システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成14年度	〃	平成20年より学生募集停止
電気・電子工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成14年度	〃	平成20年より学生募集停止
建設都市工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成14年度	〃	平成19年より学生募集停止
建築デザイン学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成14年度	〃	平成19年より学生募集停止
環境マテリアル学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成14年度	〃	平成19年より学生募集停止
経営経済学部	4	300	-	1,200					
経営経済学科	4	300	-	1,200	学士(経営経済学)	0.86	平成15年度	〃	
大学の名称	短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
該当なし	年	人	年次人	人		倍			

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、すでに設置している大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、状況を記入してください。

(大学院及び短期大学の専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

2 設置届出書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。

3 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。

4 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成 年より学生募集停止」と記入してください。

## 6 その他全般的事項

<工学部 建築学科>

### (1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況，今後の見通しなど
<p>オ 教員組織の編成の考え方と特色 教授6名、准教授5名からなる計11名の専任教員</p> <p>ツ 情報の提供</p> <p>2 学生に対する情報の提供は以下のとおり行っている。</p> <p>a 授業計画(シラバス) 1年生に配布</p> <p>c 日本文理大学広報誌の発行 年2回郵送 (追加)</p> <p>3 保護者に対する情報の提供は以下のとおり行っている。</p> <p>a 日本文理大学広報誌の発行 年2回郵送</p> <p>6 企業に対する情報の提供は以下のとおり行っている。</p> <p>a 就職パンフレットの郵送 年1回</p>	<p>教授1名の死亡及び教授1名の学長就任により、教授2名減。後任として、准教授1名が他学科からの就任、助教1名を新規に採用した。また、准教授1名が教授へ昇任し、教授5名、准教授5名、助教1名の計11名の専任教員となっている。</p> <p>2 学生に対する情報の提供は以下のとおり行っている。</p> <p>a 授業計画(シラバス) 学内Webによる閲覧</p> <p>c 日本文理大学広報誌の発行 年1回郵送</p> <p>g 学内Webによる履修・出席状況</p> <p>3 保護者に対する情報の提供は以下のとおり行っている。</p> <p>a 日本文理大学広報誌の発行 年1回郵送</p> <p>6 企業に対する情報の提供は以下のとおり行っている。</p> <p>a ホームページによる情報の掲載</p>

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 関係規程等を転載又は添付すること 平成17年度にFD委員会を常設し、活動開始。 「日本文理大学FD委員会規程」は平成20年4月に制定。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 平成18年度4回、平成19年度1回、平成20年度2回開催しており、全学科のFD委員が出席。 (工学部各学科1名計4名、経営経済学部3名、合計7名) 開催回数は少ないが、学内LAN(デスクネット)の閲覧板機能を利用して、議題の提案、意見の集約を随時行なっている。</p> <p>c 委員会の審議事項等 FD研修会の実施計画及び内容の立案 授業評価アンケートの実施方法及び設問内容の検討</p>
--

授業評価アンケートの回答率向上の施策の検討  
担任制について検討（担任の役割、運用等）  
授業参観の実施方法について検討  
教育研究能力の維持・向上に関して検討  
教育内容及び方法の改善を図るための組織的な研修について検討  
出席状況の把握について検討（出席のとり方、出席の評価等）  
部分的4学期制の検討  
授業回数の検討（試験を除いて授業15回実施）  
成績評価基準の検討  
補講・補習に関する検討  
予習・復習に関する調査及び検討

## 実施状況

### a 実施内容

- ・ F D 研修会  
平成15年度、平成16年度、平成18年度、平成19年度、平成20年度に各1回開催。  
平成18年度の研修会は、湯布院の本学研修所で、1泊2日で実施。  
教員間での討議の結果報告や学外での種々の研修会やフォーラムの報告の他、各回テーマを設定し、協議。  
教員の80%以上、職員の50%以上が参加。  
学内LAN（デスクネット）のFD活動推進のページに、FD研修会の資料及び検討内容を掲載し、全教職員が随時閲覧できるようにしている。
- ・ 授業評価アンケート  
平成18年度までは、1教員につき1科目を選定し、職員が授業終了後教室にてアンケートを実施。  
平成19年度以降は、学内LAN・ユニバーサルパスポートが導入されたことを契機に、開講されている全ての科目に対して、Web上でアンケートを実施している。  
アンケート結果（設問の評点[5段階評価]や学生のコメント、コメントに対する教員の回答、教員の授業改善の方策等）は、Web上に掲載し、学生が自由に閲覧できるようにしている。  
教職員も勿論閲覧でき、授業改善に役立てている。
- ・ 教員相互の授業参観  
平成16年度前期、平成18年度後期、平成20年度前期に各1回実施。平成21年度前期も実施予定。参観を希望する科目を公開授業事務局（学生サービス教務担当）及び科目担当者に連絡し、了解を得た上で、授業参観を実施。参観者と授業担当者間で授業改善について協議し、報告書を作成して公開授業事務局に提出。報告書は学内LAN（デスクネット）に掲載され、全教職員が閲覧可能。各回とも教員の90%以上が参加。
- ・ 研究会付授業参観  
平成20年度後期実施。  
公開授業事務局の募集に対し、8人の教員（8教科）が応募。  
その公開授業8科目に対し、授業参観及び授業改善の研究会参加教員を募集。  
授業期間中であり、日程の調整が難しく、40%の教員が参加。  
公開授業参観後、メンバーが集まり、授業改善の研究会を開催。  
その結果を同年度3月開催のFD研修会で発表。
- ・ 新任教員のための研修会  
平成20年度、平成21年度の4月1日・開講日に実施。  
平成20年度は、学長及びFD委員長が、建学の精神、基本理念、教員の責務等に関し、口頭で約30分間説明。  
平成21年度は資料を作成し、学長及びFD委員長が、建学の精神、基本理念、教員の責務等に関し、約60分間説明。

学科では、教室主任が新任教員に対し、2時間程度具体的に説明。

- ・ 部分的4学期制の検討

週1回授業より週2回の集中した授業の方が効果的であると思われる科目を数科目、平成21年度前期より試験的に実施。前期終了後に検証する予定。

- ・ 予習・復習に関する調査及び検討

平成20年度前期、後期の2回調査実施。FD委員会で検討中。

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

新課程では、従前学科の成果を踏襲しつつ、さらに都市環境や景観、都市インフラストラクチャ等との建設都市工学的視野をも有する実践的建築技術者の養成を図っている。特に低学年時(1~2年)の学生においては、個々の目標や嗜好にとらわれず、建築のデザインや施工、インテリア、建設都市工学など、異なる専門分野を横断的に学習するよう指導しており、学生もその主旨をよく理解して履修登録を行っている。また、各種資格取得や課外活動にも積極的にチャレンジしており、設置の趣旨は概ね履行できているものと評価できる。

#### 自己点検・評価報告書

##### a 公表(予定)時期

- ・平成21年4月1日 公表

##### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開している。
- ・大学図書館にて閲覧できるように予定している。

#### 認証評価を受ける計画

- ・平成20年度に評価機関(財団法人日本高等教育評価機構)の評価を受け、評価機関が定める大学評価基準を全て満たしていることが認定された。

(4) 情報提供に関する事項

設置届出書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) ( 2009年 10月 1日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置届出書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・  承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
( 決まり次第連絡する )

設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )
- b 公表予定時期 ( 2010年 4月 1日 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・  承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
( 決まり次第連絡する )

(注) 1 項目は、1～5の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

2 「(1) 設置計画変更事項等」の記入事項は、原則として、設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

3 「(3) 自己点検・評価等に関する事項」については、届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

4 「(4) 情報提供に関する事項」の「 」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。

また、「 」又は「 」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「 」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

大学設置室メールアドレス : [d-secci@mext.go.jp](mailto:d-secci@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先( 大学) 」としてください。